(町長議案提案説明)

福井町長 皆さま、おはようございます。今年の冬は記録的な暖冬と言われ、12月まではそのとおりでしたが、1月に入り寒波にもたびたび見舞われ、梅の開花は例年どおり2月6日でした。そして3月1日は初雪が降り、桜の開花は例年より遅れるとのこと。それでは、平成28年第1回定例町議会の開催にあたり所信を申し上げます。まず初めに現在の世界の情勢を見てみますと、年初より原油安、中国景気の後退、米国の利上げ、ISのテロ活動など複合的要因により世界同時株安の様相を呈しています。また、シリアなどからの移民、難民問題がヨーロッパ全土を覆い、行き先のない移民を温かく受け入れる人々が不当にも攻撃的とされています。ISなどイスラム系住民の一部の組織のテロ活動により多くの人々が夢を壊され命までも奪われています。つぎに国政ですが、安倍内閣の最重要課題として、景気対策、社会保障制度改革、少子化対策などがありますが、切り口を変えれば人口問題、地方創生、一億総活躍社会の実現だと言えます。安倍首相は1月の衆議院本会議での施政方針演説において、一億総活躍社会の最も根源的な課題は、人口問題に立ち向かい、『希望出生率を1.8』にすること。そのために所得の低い若者に経済的な支援を行う。「子育て世代包括支援センター」を全国に展開する。仕事をしながら子育てができる社会をつくるなど、多くの子育て支援策を行うと言われています。また、地方創生では、TPPによる農業への悪影響を防止するため、六次産業課やブランド化や農産物の輸出の支援や農地の大規模化を進め国際競争力を強化する。また、民泊の拡大などにより地方へのインバウンドを増やすと言われています。そして、所信の締めくくりで昨年日本ラグビーチームの歴史的勝利をあげ挑戦することの重要性を説かれています。さて、牟岐町の現状と課題ですが、今さら申し上げるまでもありませんが、現在の牟岐町の産業は、一次から三次に至るまで非常に厳しい状況にあります。かつては日本有数と言われた牟岐町の漁業も毎年のように水揚げが落ち、若者が家族を養っていくことが困難になります。農業も同様に若者が夢を持ち汗を流せる状況にはありません。そして、かつては西の池田に肩を並べた牟岐町の商工業も毎年のように売上が落ちていっています。今年の国勢調査の結果、5年前の前回よりも人口が566人、率にして約11.7%減少し、平成28年1月末時点での高齢化率も46.3%となっています。このような状況を改善するため国の方針にも沿い、平成28年度は牟岐町を創生するため、また、将来に渡り持続可能なまちづくりを図るため、今年度策定した総合計画を着実に推進してまいりたいと思います。今回の総合戦略では、2060年の人口ビジョンを現在の約55%の2,419人としていますが、国立社会保障人口問題研究所の推計人口、1,319人を1,100人上回っており、計画期間である5年間では、現在の毎年90人台の人口減少を65人まで改善する必要があります。非常に厳しい課題ですが、牟岐町が将来に渡り持続できるよう海外勢に臨んだ日本ラグビーチームの気概を持って、この困難に『挑戦』してまいりたいと思います。さて、牟岐町創生の具体の施策ですが、牟岐町を支える人づくりとその全ての人々が全力で、また、生涯、生きがいを持ち働けるよう『健

康』をテーマとして各種施策を展開してまいりたいと考えています。人づくりをテーマとしたまちづくりとは、平成26年より毎年牟岐町で全国の高校生を対象としたサマースクールが実施されていますが、これまでのHLABの関係者などによる地元の高校生を対象とした研修やワークショップなどの活動を通じ、グローバル人材や起業精神に富む人材の育成だけでなく、仕事の創造、交流人口の増加につなげようとするものです。また、『健康』をテーマとしたまちづくりとは、県下でも保険給付率が高い牟岐町国民健康保険財政をできるだけ健全化するという目的もありますが、やはり人間が充実した人生を送るためには、何よりも健康が重要です。多くの人が病気になって初めて健康の重要性に気付きますが、牟岐町の多くの人々にまずは常日頃から健康の有りがたさを知ってもらう。そして、健康であるための努力をしていただく、つまり健康的な食事や運動を継続していただきたいと考えています。そして、健康をテーマとした各種取り組みを通じ、全ての人々の健康はもちろん、交流人口の増加と仕事の創造を図ってまいりたいと考えています。総括的には、この2つのコンセプトを柱にまとめていますが、具体的な施策としては、ローカルハイスクールの実施、空き家の活用、中小企業を支援するエコノミックガーデニングによる推進、農林水産業の支援、着地型観光の推進、観光振興のための環境整備、教育研究機関との連携、子育て世代への経済的支援、牟岐町版C CRCの推進、災害に強い地域づくりの推進、地域間連携の推進等を実施する計画です。特に今年度実施する予定の事業として、海部病院の高台移転開業に合わせた町道の整備、出羽島重要伝統的建造物群の選定のための取り組みと選定後の島内施設の活用に向けた各種事業の実施、町内の観光用案内板の付け替え、子育て支援のための施設改修、防災センターの設置に向けた設計、第2子以降の保育料の無料化等を予算計上しています。持続可能な牟岐町を創生するために未来を担う逞しい子ども達の育成と牟岐町で生きる全ての人々が生きがいを持ち生涯を送れるよう健康であり続けること、そして、あらゆる災害にも強いまちづくりという行政として真に必要な目標を見失うことなく、原点に立ち着実に実績を積み重ねてまいりたいと考えています。牟岐町創生とは、町内の全ての皆さんの熱意が作り上げるものであり、一部の人々の努力により達成できるものではありません。町民の皆さまが総じてそれを願わないかぎり、困難であることをご理解いただきたいと思えます。議員各位におかれましてもご指導、ご支援のほど、どうかよろしく願い申し上げます。それでは、町長提案説明に入ります。本定例町議会に提出の案件は、報告1件、議案37件です。内訳は 報告は専決処分で条例の一部改正1件と工事請負契約の変更1件です。議案は、条例の制定、一部改正14件、補正予算3件、当初予算7件、指定管理者の指定7件、その他6件となっています。報告第1号、専決処分した事項の承認。平成27年専決第6号、牟岐町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例。本年1月1日に施行されることとなっていました個人番号の取り扱いについて、町民税及び特別土地保有税の減免申請書に個人番号を記載しないこととなったことによる税条例の一部改正です。平成28年専決第1号、工事請負契約の変更。平成27年度防災拠点避難地整備事業調整池工事の完成期限を平成28年2月29日から平成28年3月31日に変更するものです。

議案第1号、特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例。町長、副町長の給料月額を平成28年度の1年間、町長は50%、副町長は10%減額して支給するものです。議案第2号、教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例。教育長の給料月額を平成28年度の1年間、10%減額して支給するものです。議案第3号、牟岐町税条例の一部を改正する条例。地方税法の改正により地方税の猶予制度が見直されたことに伴い、徴収の猶予及び換価の猶予に係る申請手続き等を定めるほか、所要の改正をするものです。議案第4号、牟岐町行政不服審査会条例。行政不服審査法の全面改正により不服申し立ての仕組みと審理・裁決の手続きが見直されることになりました。新たに不服申し立てを審査する第三者機関として行政不服審査会を設置することに伴い制定するものです。議案第5号、牟岐町情報公開条例の一部を改正する条例。議案第6号、牟岐町個人情報保護条例の一部を改正する条例。議案第7号、牟岐町行政手続条例の一部を改正する条例。議案第8号、牟岐町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例。議案第9号、町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例。議案第5号から議案第9号までの5議案は行政不服審査法の改正に伴う関係法令の整備に伴い、改正するものです。議案第10号、牟岐町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例。議案第11号、職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例。この2議案は地方公務員法の改正により関係条項を整備するものです。議案第12号、牟岐町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。地方公務員法の改正による条項の整備と行政職等級別標準職務表の追加及び行政不服審査法の改正により条項を整備するものです。議案第13号、牟岐町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。議案第14号、牟岐町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。議案第13号、第14号の2議案は、介護保険法等の改正により、関係条項を整備するものです。議案第15号、定住自立圏の形成に関する協定の締結。阿南市との定住自立圏の形成に関する協定を締結することについて、議会の議決すべき事件に関する条例第2条により、議会の議決を求めるものです。議案第16号、過疎地域自立促進計画の策定。平成28年度から平成32年度まで5年間の計画を別添のとおり策定し、議会の承認を得るものです。議案第17号、工事請負契約の変更。平成27年度防災拠点避難地整備事業調整池工事の完成期限を平成28年3月31日から平成28年12月20日に変更するものです。議案第18号、工事請負契約の変更。平成26年度防災拠点避難地整備事業山田地区残土処理場整備（第3分割）工事の工事請負金額を1,931,040円増額するものです。議案第19号、工事請負契約の変更。平成27年度防災拠点避難地整備事業山田地区残土処理場整備（第4分割）工事の完成期限を平成28年3月31日から平成29年3月21日に変更するものです。議案第20号、工事請負契約の変更。平成27年度都市防災総合推進事業（中村・西浦地区）整備工事の完成期限を平成28年3月31日から平成28年12月9日に変更するものです。

議案第21号、牟岐町喜来地区多目的集会所の指定管理者の指定。牟岐町喜来地区多目的集会所の指定管理者を喜来部落会の代表者をお願いするもので、期間は、平成33年3月末までの5年間です。議案第22号、農水産物処理加工場の指定管理者の指定。農水産物処理加工場の指定管理者をかいふ農業協同組合組合長とするもので、期間は、平成31年3月末までの3年間です。議案第23号、牟岐町アワビ種苗生産施設の指定管理者の指定。牟岐町アワビ種苗生産施設の指定管理者を牟岐東漁業協同組合組合長とするもので、期間は、平成31年3月末までの3年間です。議案第24号、出羽島漁村センターの指定管理者の指定。出羽島漁村センターの指定管理者を牟岐町漁業協同組合の組合長とするもので、期間は、平成33年3月末までの5年間です。議案第25号、大戸漁村センターの指定管理者の指定。大戸漁村センターの指定管理者を牟岐町漁業協同組合の組合長とするもので、期間は、平成33年3月末までの5年間です。議案第26号、辺川農業構造改善センターの指定管理者の指定。辺川農業構造改善センターの指定管理者を辺川部落会の代表者をお願いするもので、期間は、平成33年3月末までの5年間です。議案第27号、牟岐町モデル木造施設「モラスコむぎ」の指定管理者の指定。牟岐町モデル木造施設「モラスコむぎ」の指定管理者を株式会社ノアむぎ2000代表取締役とするもので、期間は、平成31年3月末までの3年間とするものです。議案第28号、平成27年度牟岐町一般会計補正予算。別冊となっていますので、ご用意ください。今回の補正は、地方創生加速化交付金に係る事業予算が中心となっています。歳出の主なものを挙げますと、13ページ、2款・総務費、事務改善費に自治体情報システム強靱性向上事業委託料を3千400万円地方創生費に人材育成を核とした地域産業発掘事業と健康による賑わいの創出と生涯活躍のまちづくり事業を2千954万円計上しており、28年度に全額繰越しとなります。21ページ、3款・民生費、老人福祉費で福祉避難所介護食備蓄事業を計上しています。23ページ、4款・衛生費、繰出金で出羽島簡易水道の赤字補填を計上しています。27ページ、5款・農林水産業費、林業振興費で有害鳥獣捕獲奨励金の追加をしています。31ページ、6款・商工費、観光費で駅前中央緑地帯剪定手数料を計上しています。33ページ、7款・土木費、砂防費で県単砂防事業負担金の追加をしています。35ページ、9款・教育費、体育振興費で町民体育館カーテンウォールパネル修繕料を計上しています。歳入では、使用料で山田残土処理場使用料を減額しています。国庫支出金で地方公共団体情報セキュリティ強化対策費補助金、地方創生加速化交付金などを計上しています。県支出金では、鳥獣被害緊急捕獲等対策事業費補助金の追加などを計上しています。町債では、使用料減額の財源として徳島県市町村振興資金債、自治体情報システム強靱性向上事業に一般補助施設整備等事業債などを計上しています。第2表「継続費の補正」として防災拠点避難地整備事業の変更を掲載しています。第3表「繰越明許費」として、27年度から28年度へ繰り越す事業名と金額を掲載しています。第4表「地方債の補正」では過疎対策事業債、徳島県市町村振興資金債の変更と一般補助施設整備等事業債の追加を行っています。歳入歳出、79,086千円を追加し、予算総額を3,565,065千円とする平成27年度牟岐町一般会計補正予算です。議案第29号、平成2

7年度牟岐町出羽島簡易水道特別会計補正予算。赤字の補填分を一般会計からの繰入金240万円計上し、同額の使用料収入を減額するものです。歳入歳出の総額に増減無く、予算総額を27,291千円とする補正予算です。議案第30号、平成27年度牟岐町国民健康保険特別会計補正予算。歳出では、一般管理費で国保システム改修に伴う経費など、保険給付費で一般被保険者高額療養費を追加し、歳入では、国庫補助金と一般会計繰入金を計上しています。歳入歳出それぞれ、2,463千円を追加し、予算総額を965,521千円とする補正予算です。議案第31号、平成28年度牟岐町一般会計予算。別冊となっていますので、ご用意ください。平成28年度の予算総額は、2,828,784千円で、27年度当初予算額より27,831千円、1.00%の増額となっています。27年度からの継続事業である防災拠点避難地整備事業などを計上しています。新年度の予算で、新たなもの、特徴的なものについて述べます。まず、人件費ですが総額で23,035千円の減額となっています。内訳は、特別職・議員で、12,447千円の減額、一般職で10,588千円の減額となっています。特別職の給与カットと一般職では退職によるものです。63ページ、1款・議会費は4,239千円の減額です。議員共済会公費負担金の減額によるものです。67ページ、2款・総務費は1,003,841千円の減額です。コミュニティセンター建設事業費で町民センター建替業務設計監理費を計上しています。防災拠点避難地整備事業で県委託料や都市防災総合推進事業などの工事費を計上しています。地方創生費でサマースクール負担金を計上しています。選挙費で参議院議員通常選挙の経費を計上しています。105ページ、3款・民生費は38,324千円の増額です。社会福祉総務費で臨時福祉給付金を計上しています。131ページ、4款・衛生費は19,615千円の増額です。環境衛生費で浄化槽設置補助金を増額しています。145ページ、5款・農林水産業費は31,375千円の増額です。林業振興費で神野内妻線舗装工事費の計上。漁港管理費で広域漁港整備事業負担金を計上しています。159ページ、6款・商工費は、374千円の減額です。地域振興費で集落支援員と地域おこし協力隊の経費を計上しています。167ページ、7款・土木費は、16,136千円の減額です。社会資本整備総合交付金事業で道路、橋梁工事費を計上しています。民間住宅環境整備費に新たに民間建築物耐震化支援事業補助金を計上しています。181ページ、8款・消防費は、4,688千円の増額です。非常備消防費で山田地区消火栓設置工事費を計上しています。185ページ、9款・教育費は、7,978千円の減額です。事務局費にスクールバス購入費を計上しています。社会教育総務費に伝建事業経費を計上しています。219ページ、10款・災害復旧費は、経常的な経費の計上です。221ページ、11款・公債費は、65,397千円の増額となっています。223ページ、12款・諸支出金、13款・予備費は、27年度と同額です。歳入では、一般財源は27年度と比べ約40,000千円増額しています。1ページ、町税は、27年度から2,549千円減額計上しています。17ページ、地方交付税は、24,500千円を増額計上しています。19ページ、分担金負担金は、民生費負担金を保育料の減額により6,009千円減額して計上しています。25ページ、国庫支出金は5,889千円の減額です。

民生費補助金で臨時福祉給付金給付補助金30,739千円を計上、消防費補助金では、都市防災総合推進事業費補助金、50,000千円を計上しています。また、総務費補助金で社会保障・税番号制度システム整備費補助金を、総務費委託金で参議院議員選挙費委託金を計上しています。33ページ、県支出金24,570千円の増額です。民生費補助金で阿波っこはぐくみ保育料助成事業費補助金を計上、土木費補助金で民間建築物耐震化支援事業補助金を計上しています。51ページ、繰入金は、財政調整基金を27年度より100,000千円多い250,000千円取崩し、事業の財源としています。59ページ、町債は、当初に過疎債、徳島県市町村振興資金債、臨時財政対策債を合わせて321,700千円を計上しています。27年度より103,500千円の減額となっています。一般会計について、大まかな説明となりましたが、詳しくは、のちほど、関係課長から説明をさせますので、よろしくお願ひします。議案第32号、平成28年度牟岐町上水道事業会計予算。平成28年度の業務予定量として、給水戸数2,315戸、年間総給水量67万4千立方メートル、1日平均給水量1,847立方メートルとし、収益的収入を120,544千円、収益的支出を114,240千円と定めるものです。資本的支出で国道55号清水地区配水管布設替工事費、灘地区減圧弁取替工事費を計上しています。資本的支出で企業債を計上しています。議案第33号、平成28年度牟岐町出羽島簡易水道特別会計予算。歳出は、施設管理費、公債費など経常的経費を計上しています。歳入は、水道使用料と一般会計からの繰入金です。繰入金は、公債費の償還に充てる分として、16,503千円を計上しています。歳入歳出予算の総額を26,353千円と定めるものです。議案第34号、平成28年度牟岐町国民健康保険特別会計予算。歳入歳出予算の総額を888,274千円と定めるもので、前年度に比べ20,370千円の増額の予算です。歳出では、保険給付費で521,759千円と前年度に比べ39,339千円の増額です。共同事業拠出金で224,393千円と13,275千円の減額となっています。歳入では保険税1億1,105万3千円で前年度に比べ9,734千円の減額となっています。一般会計からの繰入金は、79,974千円で14,590千円の増額となっています。危機的な財政運営が続いており、現予算額では保険給付費の不足が見込まれますので、年度途中で一般会計からの繰り入れが必要と考えています。議案第35号、平成28年度牟岐町青少年健全育成センター特別会計予算。歳入歳出予算の総額を7,469千円と定めるものです。この会計は、海部郡3町の負担金と繰入金を財源とするもので、牟岐町一般会計からは1,331千円の繰り入れを行っています。議案第36号、平成28年度牟岐町介護保険特別会計予算。歳出は、保険給付費745,853千円、地域支援事業費12,725千円などを計上しています。歳入は、介護保険料148,772千円、国庫支出金207,597千円、県支出金95,538千円、支払基金交付金209,531千円を計上しています。一般会計からの繰入金は107,204千円となっています。歳入歳出予算の総額を768,644千円と定めるものです。議案第37号、平成28年度牟岐町後期高齢者医療特別会計予算。この会計は、後期高齢者医療の保険料を徴収し、一般会計からの保険基盤安定負担金分の繰り入れと合わせて、後期高齢者医療広域連合

へ納付金として支出する会計です。平成28年度の歳入では、特別徴収、普通徴収合わせて、63,658千円の保険料、一般会計繰入金29,067千円。歳出では、広域連合納付金91,428千円とするものです。歳入歳出の総額をそれぞれ93,760千円と定める予算です。以上で提案説明を終わりますが、詳細については関係課長などから説明いたしますので、よろしくご審議のほど、お願いいたします。